

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

訂正版

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



G00002

(43) 国際公開日
2001 年 10 月 11 日 (11.10.2001)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 01/074487 A1

- (51) 国際特許分類⁷: B01J 31/40, C07D 209/48, B01D 9/02, 11/04
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/02844
- (22) 国際出願日: 2001 年 3 月 30 日 (30.03.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2000-102795 2000 年 4 月 4 日 (04.04.2000) JP
特願2000-102796 2000 年 4 月 4 日 (04.04.2000) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ダイセル化学工業株式会社 (DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.) [JP/JP]; 〒590-8501 大阪府堺市鉄砲町1番地 Osaka (JP)
- (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 三浦裕幸 (MIURA, Hiroyuki) [JP/JP]; 〒676-0827 兵庫県高砂市阿弥陀町阿弥陀 1710-3 Hyogo (JP). 渡邊仁志 (WATANABE, Hitoshi) [JP/JP]. 桑名章博 (KUWANA, Akihiro) [JP/JP]; 〒671-1262 兵庫県姫路市余部区上余部 500 Hyogo (JP). 嶋村真美 (SHIMAMURA, Mami) [JP/JP]; 〒671-1234 兵庫県姫路市網干区新在家 1367-21 Hyogo (JP). 平井成尚 (HIRAI, Naruhisa) [JP/JP]; 〒671-1226 兵庫県姫路市網干区高田 720 Hyogo (JP)

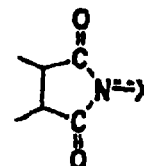
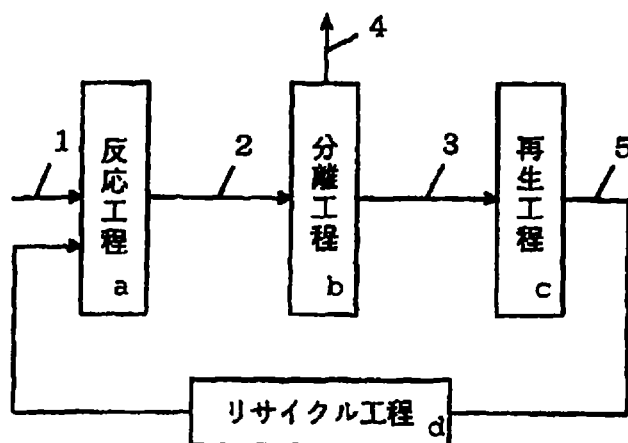
[続葉有]

(54) Title: METHOD OF SEPARATING IMIDE COMPOUND

(54) 発明の名称: イミド化合物の分離方法



162162



(1)

a...REACTION STEP
b...SEPARATION STEP

c...REGENERATION STEP
d...RECYCLING STEP

(57) Abstract: A reaction mixture obtained by reacting a substrate in the presence of an imide compound having an imide unit represented by the formula (1) can be efficiently separated through crystallization and/or extraction with a specific solvent into the imide compound and a reaction product. (In the formula, X represents oxygen, hydroxy, or acyloxy.) Furthermore, a mixture comprising the imide compound and a metal catalyst can be efficiently separated through crystallization, adsorption, and/or extraction into the imide compound and the metal catalyst

[続葉有]

WO 01/074487 A1

(74) 代理人: 弁理士 鎌田充生(KUWATA, Mitsuo); 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満6丁目3番19号 フヨウビル10階 Osaka (JP)

(81) 指定国/国内: CN, ID, KR, SG, US

(84) 指定国/広域: ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

(48) この訂正版の公開日:

2002 年 7 月 18 日

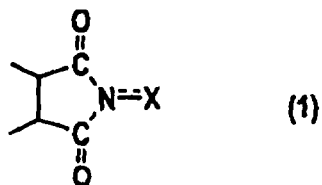
(15) 訂正情報:

PCTガゼット セクションIIの No 29/2002 (2002 年 7 月 18 日)を参照

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

下記式(1)で表されるイミド単位を有するイミド化合物の存在下、基質を反応させて得られる反応混合物から、特定の溶媒を用いる晶析及び／又は抽出操作により、前記イミド化合物と反応生成物とを効率よく分離できる。



(式中、Xは酸素原子、ヒドロキシル基又はアシルオキシ基を示す)

また、前記イミド化合物と金属触媒とを含む混合物から、晶析、吸着及び／又は抽出操作により、前記イミド化合物と金属触媒とを効率よく分離できる。